

平成29年7月21日
九州地方整備局
道路部 交通対策課

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス 第1回地域実験協議会を開催します！

技術的な検証を行うための実験箇所(「地域指定型」として選定された道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向け、第1回地域実験協議会を開催します。

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、今年夏頃より、実証実験を開始する予定です。

今回、主に技術的な検証を速やかに実施するための道の駅(地域指定型)として選定された道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向けて実験実施計画の検討や実験実施に係る関係機関との調整等を進めるため、「地域実験協議会」を設置し、その第1回会合を開催します。

1. 設置趣旨

道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス実証実験を円滑かつ効果的に実施するため、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的として、道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会を設置する。

2. 日時

平成29年7月25日(火) 10時

3. 場所

熊本県葦北郡芦北町 しろやますカイドーム (2階会議室)

4. 議事

- (1) 実証実験の概要及び実験車両の説明
- (2) 今後の実証実験の進め方 など

※会議は、公開です。ただし、カメラ撮りは、冒頭から挨拶までとさせていただきます。

(座席には限りがありますので、あらかじめご承知ください。)

※道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会HP

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/zidouunten/jidouunten.htm>

※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。

問い合わせ先

九州地方整備局 道路部 交通対策課長 浅井 博海
交通対策課長補佐 井本 真樹男

(代表)TEL:092-471-6331 (課直通)TEL:092-476-3534 FAX:092-476-3481

**道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした自動運転サービス
地域実験協議会
委員等名簿（案）**

委員	所属
溝上 章志	熊本大学 大学院 先端科学研究部 教授
円山 琢也	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授
長井 英治	熊本県 土木部 道路保全課 課長
島田 邦満	熊本県 芦北地域振興局 局長
竹崎 一成	芦北町 町長
寺本 修一	芦北町 議会議長
船江 英二	熊本県警察 交通企画課 課長
高木 和寿	熊本県警察 交通規制課 次席
古賀 壮一	熊本県警察 芦北警察署 署長
馬場 秀男	「道の駅」芦北でこぼん 駅長
立丸 一廣	自治会長 道川内西地区 区長
丁 道夫	あしきた農業協同組合 組合長
雄谷 誠祐	ヤマハ ゴルフカー事業推進部 部長
森田 康夫	九州地方整備局 熊本河川国道事務所 所長
柳田 誠二	九州地方整備局 道路部 道路情報管理官
牛島 幹之	九州運輸局 自動車技術安全部 技術課長
村上 眞也	九州運輸局 熊本運輸支局 支局長
井坪 慎二	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部高度道路交通システム研究室 主任研究官

《「道の駅」の概要》

- 設置者：芦北町
- 所在地：熊本県葦北郡芦北町大字佐敷443
- 路線名：主要地方道芦北球磨線
- 道路管理者：熊本県
- 整備手法：単独型
- 管理・運営者：あしきた農業協同組合
- 供用：平成28年5月10日
- 全体面積：約3,268㎡

《位置図》



《全景写真》

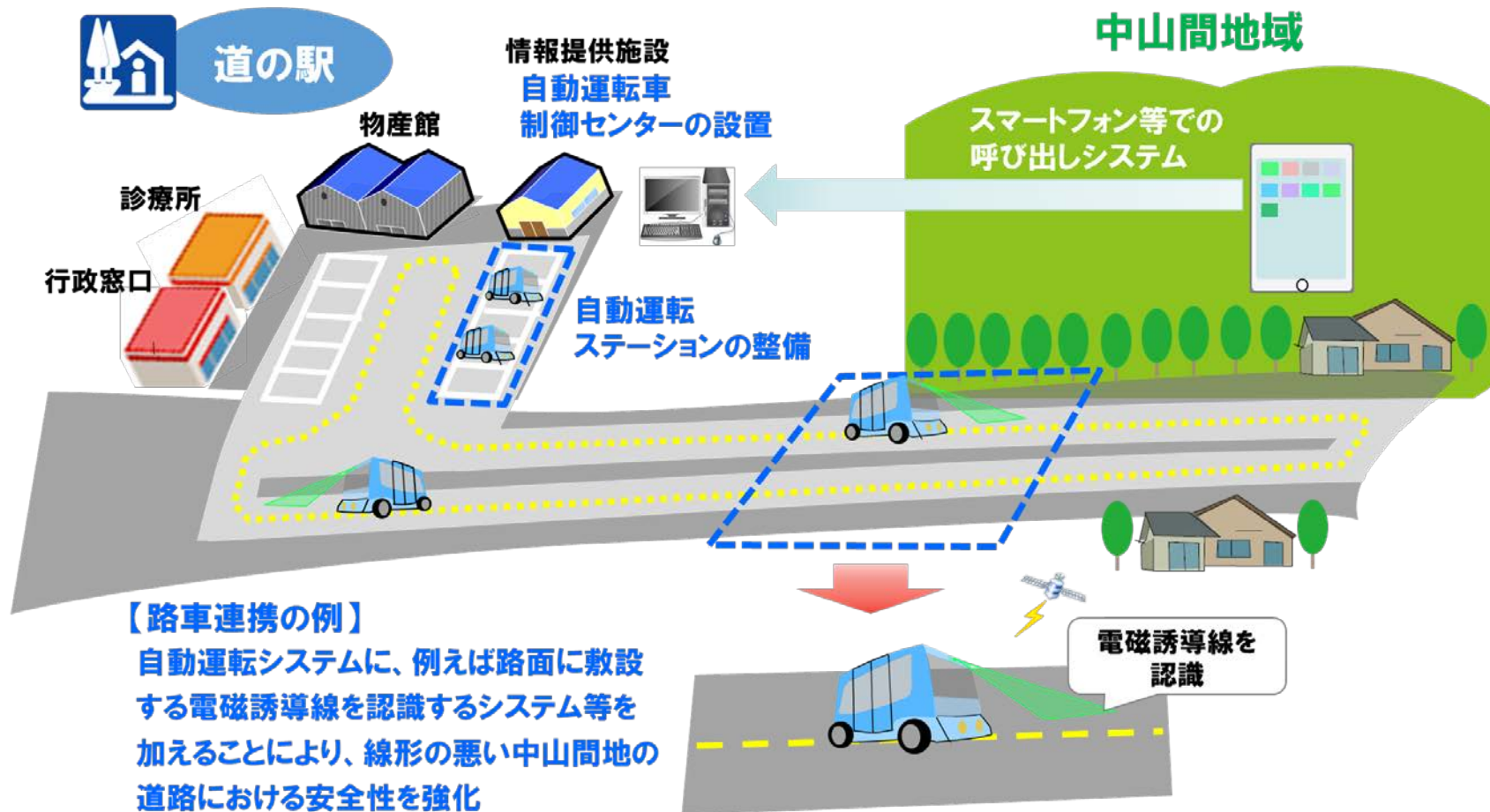


《施設写真》



特産のデコポンや甘夏をはじめ柑橘製品、
地元の新鮮な海産物や加工品等を販売

● 超高齢化等が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化
(観光・働く場の創造等)

今年夏頃から順次実験開始予定